

(たばちゃん♪主演ドラマ)

# 白ずきんちゃん

2007.12.07



むかしむかし。

いつの頃からか、たばちゃん♪は 白ずきんを 被りはじめました。

なぜならば、‘良い子’というロゴのついた白ずきんを 被っている方が先生にも 両親にも、ウケがよかったからです。

その白ずきんを手に入れるため、たばちゃん♪は いろんな努力をしました。

大きくなるにつれ、‘良い子’ブランドの白ずきんから ‘いいひと’ブランドのものへと ターゲットは変わりましたが、毎日 白ずきんを求めて いろんな努力をしました。

努力の甲斐あって、いつしか たばちゃん♪は 立派な白ずきんを手にすることができました。

それなのに。

たばちゃん♪は、自分が すでに 白ずきんを被っていることに 気づかず、「もっと！もっと！！」と 努力を重ねました。

白ずきんを手に入れるために。

「もっと！もっと！！」

努力するたび、新しい白ずきんが、たばちゃん♪のアタマに どんどん重ねられていきました。

いつも アタマが重いことが たばちゃん♪の悩みのタネでしたが、白ずきんを手に入れるためには、そんなことは どうでもいいことで、さらに努力を重ねる日々でした。

ある日、たばちゃん♪は、  
誰かに追いかけていることに  
気づきました。

「白ずきん、ちょうだああい！」

たばちゃん♪は、逃げました。

あくる日、別のひとが追いかけてきました。

「白ずきん、ちょうだああい！」

たばちゃん♪は、必死で 逃げました。

そのあくる日も、  
また別のひとが追いかけてきました。

「白ずきん、ちょうだああい！」

たばちゃん♪は、また  
ものすごい勢いで 逃げました。

どうして みんな、私を追いかけてくるの？

たばちゃん♪は、  
世間を捨て、山に籠りたい気分でした。

ある日。  
逃亡生活に疲れ、乱れた髪を直すため、  
街のショーウィンドーを覗きこんだ たばちゃん♪は、  
びっくりしました。

わ、わたし。

こんなに 白ずきん、被ってたのお？

白ずきんを被っていたことを すっかり 忘れていた  
たばちゃん♪は、びっくりしました。

高級ブランド・白ずきんを こんなに いっぱい 被っていたんだもの。  
みんな「ちょうだあい」って追いかけてくるのも もっともだわな。

たばちゃん♪は、自分で自分に ツッコミをいれました。

みんなが追っかけてくるのは、  
たばちゃん♪が、高級ブランド・白ずきんを これ見よがしに  
自慢げに いっぱい 被っていたからだったのです。

はっと 気づいた たばちゃん♪は、  
白ずきんを全部 脱ぎ捨てることにしました。

ええいっ。  
こんな白ずきんなんか、要らないわっ。

でも。  
長年 白ずきを被りつづけていたおかげで。  
たばちゃん♪のアタマからは、いろんな心配が離れません。

私のアタマ、ずきんの被りすぎで  
ハゲてるのではないかしら？

いやいや、白ずきを脱いたら、  
私のアタマ、存在してないかも？？

白ずきを脱いでもしたら、  
みんな 私のこと、  
「たばちゃん♪」だと  
わからなくなるんじゃないかしら？？？

いやいや、  
白ずきを脱いでもしたら、  
私が私でなくなるかも？？？？

だけど、たばちゃん♪が 一番心配していたのは。

白ずきを脱いでもした私は・・・ 誰にも愛されないかもしれない。

それは、とても怖いことでした。

ある朝。  
お手洗いの個室の中で(笑)、たばちゃん♪は 気づきました。

みんな、白ずきを狙って、  
たばちゃん♪を 追っかけてきているように  
見えたのですが。

実は、たばちゃん♪が 心の底で  
白ずきを 脱いでもった 私は、誰にも 愛されないかもしれない…  
なんて 怖れていたものだから…

みんなが  
「そんなことないわよ～」と 追っかけてきていたのかも???

そんなことに、気づいたのです。

きゃあ。わたし…。  
目立つのが好きではないはずなのに。

**自作・自演のドラマを  
みごとなまでに 演じきっているじゃないのお！**

台本をよーく見ると。

- ☑ 【企画】たばちゃん♪
- ☑ 【構成】たばちゃん♪
- ☑ 【脚本】たばちゃん♪
- ☑ 【音楽】たばちゃん♪
- ☑ 【プロデューサー】たばちゃん♪
- ☑ 【ディレクター】たばちゃん♪
- ☑ 【アシスタント・ディレクター】たばちゃん♪
- ☑ 【制作】たばちゃん♪
- ☑ 【主演】たばちゃん♪
- ☑ 【エキストラ・協賛】世界のみなさん。

たばちゃん♪主演ドラマ 白ずきんちゃん 制作委員会

突然、たばちゃん♪は 笑い出しました。  
個室の中で。

アホくさー。  
やってらんねー。  
おまけに、うっとーしー

今や、白ずきを被っようと、脱ぎ捨てようと・・・  
そんなことは どうでもよくなっていましたとさ。

～ 中途半端だけど、おしまい ～

<http://www.funwarist.com>